

平成30年度 川口市行政評価外部評価委員会

外部評価の具体的手法について

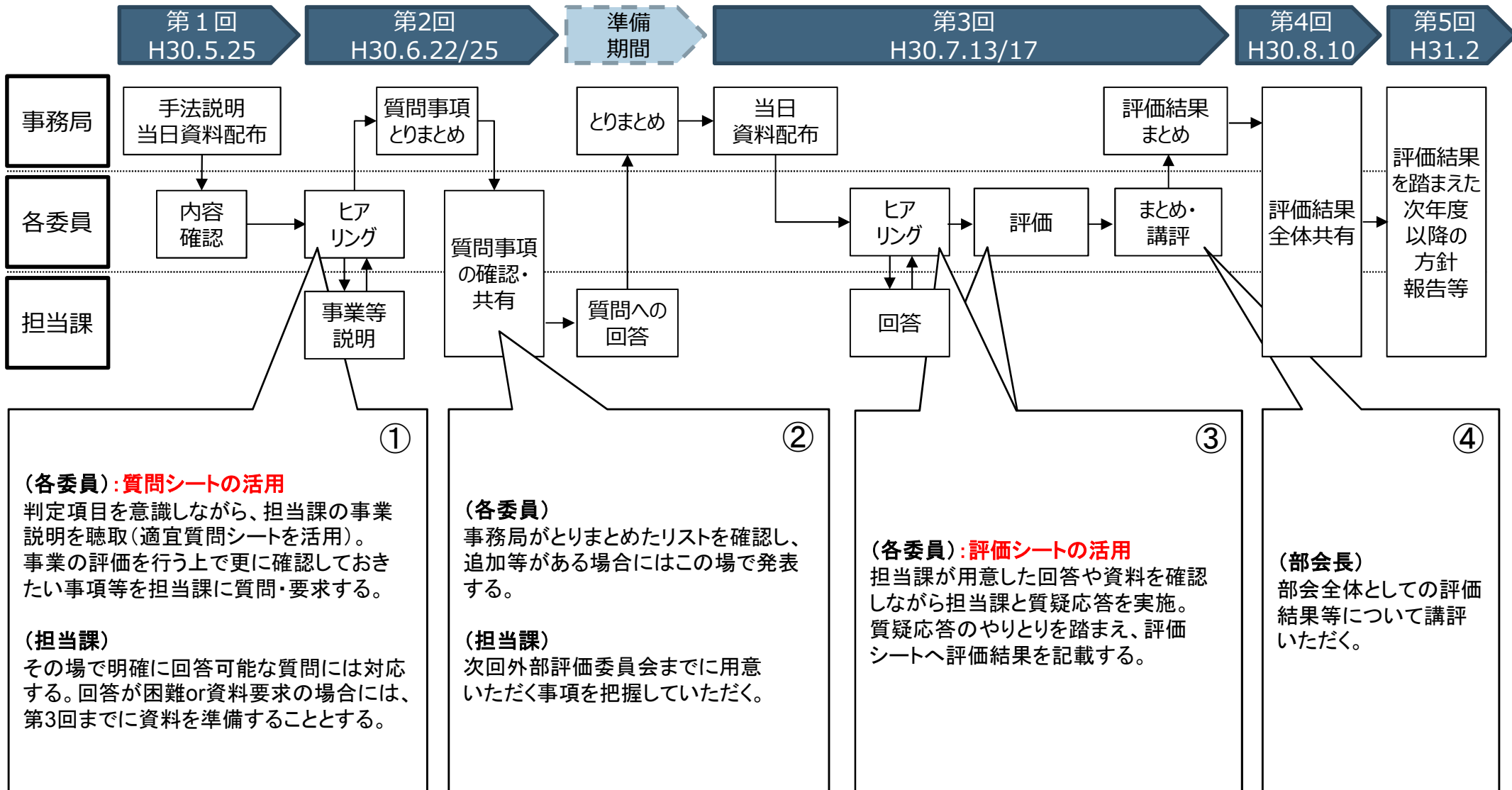
平成30年5月25日

企画経営課

外部評価の具体的手法

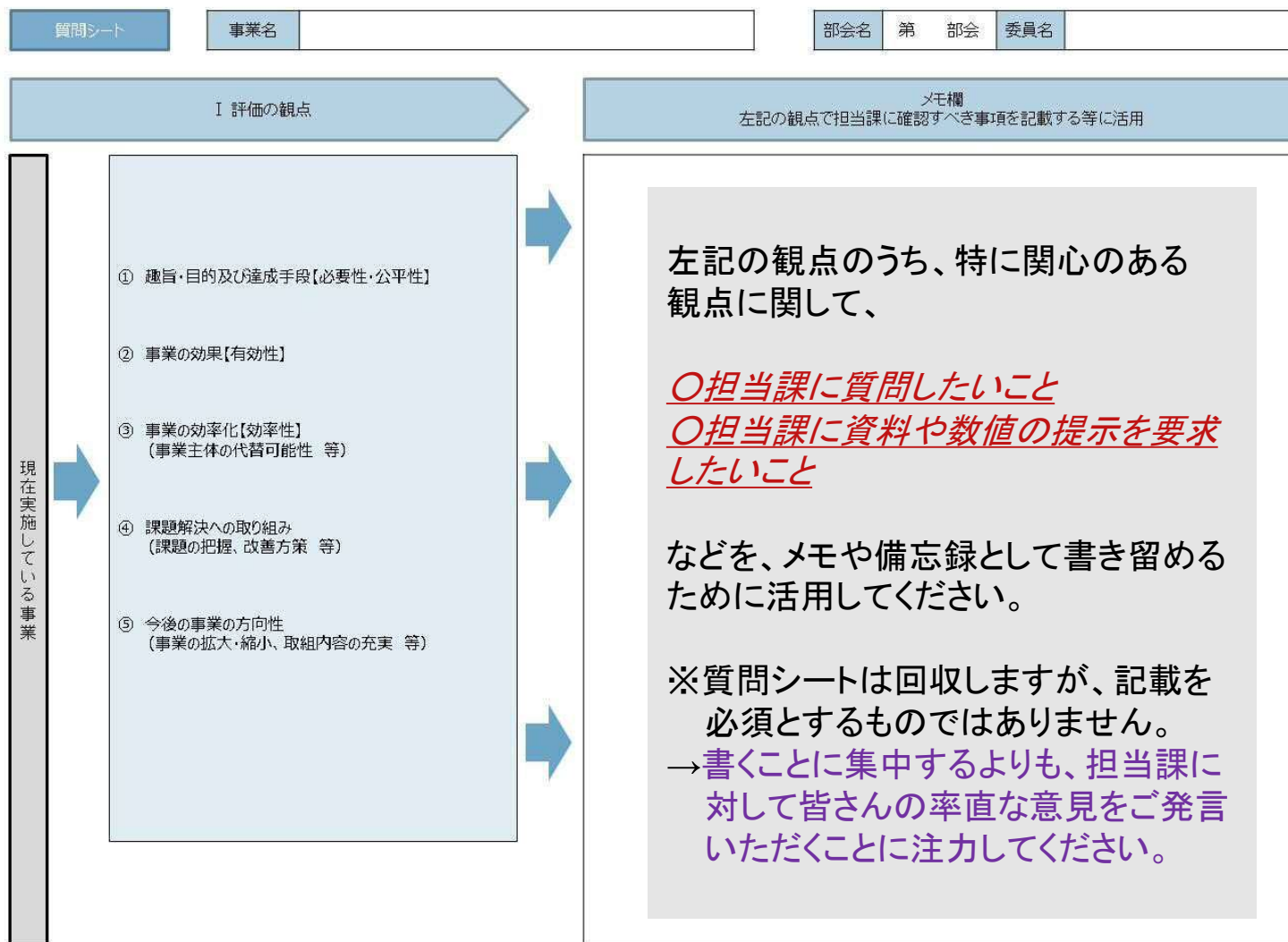
1事業につき、外部評価委員会を2回実施することで評価します

外部評価委員会のスケジュールと実施事項



質問シートの活用方法(第2回部会で使用)

「Ⅰ 評価の観点」に沿って、担当課への確認事項等を書き留めるために活用してください



評価シートの記入方法(第3回部会で使用)

担当課の回答を踏まえ、I 評価の選択をし、気になった観点についてIIコメントの記入欄にその理由やアドバイスを記載して下さい

記入例(斜体)

事業評価シート	事業名	部会名	第 部会	委員名
---------	-----	-----	------	-----



現在実施している事業	① 趣旨・目的及び達成手段【必要性・公平性】	4 適正 3 概ね適正 2 改善の必要あり 1 抜本的見直し	この事業が本当に必要かどうか分からなかったため、次年度はニーズ調査をしてみてもどうか。事業としては一定の目的を全うしていると感じた。
	② 事業の効果【有効性】	4 適正 3 概ね適正 2 改善の必要あり 1 抜本的見直し	説明を聞いたが、効果がほとんど出ていないという印象を受けた。効果を測っているのかも疑問だった。
	③ 事業の効率化【効率性】 (事業主体の代替可能性 等)	4 適正 3 概ね適正 2 改善の必要あり 1 抜本的見直し	公共性は高そうなので、川口市が実施すべきと思った。
	④ 課題解決への取り組み (課題の把握、改善方策 等)	4 適正 3 概ね適正 2 改善の必要あり 1 抜本的見直し	課題が示されているが、事業の内容を聞いて、今解決すべき課題は違うところにあると思った。
	⑤ 今後の事業の方向性【必要性】 (事業の拡大・縮小、取組内容の充実 等)	4 適正 3 概ね適正 2 改善の必要あり 1 抜本的見直し	方向性については特に問題はないと思う。
	⑥ 事業全体を通した総合的な評価 (右記IIのみに記載)		市民ニーズをしっかりと把握すれば、本当にやるべきことが見えてくるのではないかと。ニーズを把握したうえで、取組内容の充実化(現行プログラムの改訂等)を図るべき。

- ✓ I 評価欄はすべての観点に対して選択してください。
- ✓ IIコメントの記入欄にはすべての項目について記載する必要はありません。
- ✓ ご自身の関心の高い項目に関して記載をお願いします。
- ✓ 記載する場所に迷った際は、最も近い観点の部分に記載していただいて構いません。

外部評価の具体的手法

6つの観点から、事業に関する皆さんの評価をお願いします

- 評価は、定量評価として各観点について一定の基準に基づき数値によって評価する方法と、定性評価として委員の皆さんのご意見やアドバイスをいただく方法とさせていただきます。
- 具体的には、以下に示す6つの観点に基づき、**担当課の説明や資料を見聞きして、皆さんの率直に感じたご意見や改善に向けたアドバイス**をお出してください。

6つの観点	定量評価の基準、ご意見やアドバイスをいただきたい内容（例）
① 趣旨・目的及び達成手段【必要性・公平性】	事業実施の前提となる社会変化、川口市内における環境変化、市民のニーズ（現在・将来）、対象や受益者、事業の実施によって目指そうとしている姿、実現するための具体的な事業内容、講じている手段の状況 等
② 事業の効果【有効性】	利益・便益の内容や大小（人数、金額、処理量、普及率、進捗率 等）
③ 事業の効率化【効率性】 （事業主体の代替可能性 等）	コスト（費用、人員）、事業効率化策、年次動向（効率性向上に向けた動きが見られる）、公共性の高低（例：公共性が高ければ川口市（行政）が実施すべき）、受益者の偏重度合い、民間事業者による類似サービスの有無、事業実施主体（市が直接実施、業務委託、指定管理者制度の活用） 等
④ 課題解決への取り組み （課題の把握、改善方策 等）	進捗管理の方法、生じている問題や解決すべき課題の把握、事業期限の設定有無、計測指標の有無・妥当性、実績に基づいた担当課による課題認識、改善策の有無・妥当性 等
⑤ 今後の事業の方向性【必要性】 （事業の拡大・縮小、取組内容の充実 等）	事業の今後の方向性に関する担当課の認識、拡充・現状維持・効率化・縮小の妥当性 等
⑥ 事業全体を通した総合的な評価	①～⑤の観点に含まれないこと、または全体の総評 等

定量評価	4 適正	3 概ね適正	2 改善の必要あり	1 抜本的見直し
	適正な事業運営がなされている	工夫や改善の余地があるが、概ね適正な事業運営がなされている	概ねこのままの事業運営で差し支えないが、工夫や改善が必要である	抜本的に事業の運営を見直したほうがよい